

いつまでもお元気で!!



■東部地区町会別75歳以上人口

平成29.9.1現在

町会名	男性	女性	合計
清 水 東	65	109	174
清 水 中	28	35	63
清 水 西	18	23	41
片 端 町	18	30	48
出 居 番 町	6	10	16
東 町 1 丁 目	12	17	29
東 町 2 丁 目	6	14	20
東 町 3 丁 目	12	15	27
鍛 冶 町	6	8	14
餌 差 町	10	22	32
桜 町	27	40	67
下 横 田 町	21	38	59
南 上 横 田 町	6	20	26
葎 町	7	16	23
合 計	242	397	639

■東部地区高齢化状況

平成29.5.1現在

地区名	総人口(A)	65歳以上人口(B)	高齢化率(B/A)
松 本 市	240,470	65,587	27.27%
東 部 地 区	3,335	1,141	34.21%

9月18日は敬老の日でした。敬老の日は昭和40年に「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」という趣旨により国民の祝日に定められました。今年も各町会では、長年の社会貢献への感謝の意を込めて、長寿のお祝いや敬老会が行われました。最近では、高齢者に対してネガティブな印象を与えるような報道も見られますが、こういった機会を通じて、これまで地域を支えてきてくださった皆様への感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。



地域の支え合いの大切さを知る 東部地区福祉ひろば企画委員会視察研修

去る7月24日(月)町会長6名、民生8名、企画委員8名の計23名の参加で、木曾郡上松町の2施設を見学しました。

最初に(福)木曾社会福祉事業協議会で運営している障害者施設「ワークステーションすてっぷ」(就労継続支援A事業所)を視察しました。

そこではパンとクッキーを製造しており、厳選された素材の調達と完全手作り製品のたぬみ生産数が限られています。一人でも多くの方へ届けられるよう努力しているそうです。第一工場ではパン、第二工場ではクッキーを製造しており、今活躍の郷土の星、御嶽海の絵柄の「どすこい くつきい」も販売していました。大変お忙しい中、快く対応していただきました。

次に福祉ひろばと似た事業を行っていて、上松町の主婦らが中心となって企画しているNPOおてつだいネットワーク「ふれあい広場おぎ」にて、これまでの経緯など聞きながら交流をさせていただきました。町から介護予防拠点施設の運営を



「ふれあい広場おぎ」手まりサークル

委託され、様々な活動に取り組んで10年。歳をとっても安心して暮らせるようにさらに充実を目指しているそうです。昼食は、その広間をお借りして「和ケーション」というお弁当屋さんさんに配達していただきました。「和ケーション」は養護学校より「実習生を受け入れてほしい」という相談を受けた地域の福祉関係者が立ち上げた事業所だそうです。その後「手まり」のサークルの様子を見て交流させていただきました。

今回の研修で感じたことは、この地域はお互いに支え合って成り立っていると聞くことです。東部地区福祉ひろばも取り入れていけたら良いなと思いました。

楽しかった「体験研修」 子ども会育成つぼみの会 バスの旅

子ども会育成つぼみの会では、8月26日に恒例の夏イベント「体験研修」を実施しました。

今年は、静岡県の馬飼野牧場(朝霧高原)にバス2台で親子50人の参加を頂き、動物とのふれあいを深めてきました。特に羊の放牧には子供達は歓声をあげながら、餌を食べさせ追いかけて回し大喜びでした。

また、アスレチックやクラフト等の遊



びや創る体験エリアで過ごす人。バイキングの昼食での乳製品の美味しさは別格でした。「見て、触れて、感じて、学べる牧場」で目一杯遊び、大満足の1日でした。

がんばる町会活動 「ラジオ体操」でふれあい

清水東町会



清水東町会の小学校PTAでは、清水小学校の校庭で夏休み恒例の「ラジオ体操」が実施されました。

今年も7月下旬から一週間余り、小学生を対象に幼児から親も含め連日80名を超える参加者で賑わいました。

子供同士の交流や健康づくりに加え、親子や地域の人達とのふれあいの場として大いに役立っています。

ボウリングとバレー・卓球大会 心地よい汗流す

東部地区体育協会は、心身の健康づくりと地域の親睦を図るため、恒例の2事業が開催されました。「ボウリング大会」は7月30日(日)にアピナ城山で74名が参加、「ソフトバレー・卓球大会」は9月3日(日)清水中学校体育館で32名の参加がありました。共に心地良い汗を流しました。参加者から「笑い」と歓声を頂き楽しかった。また参加したい。」との声が上がりました。

今年も開催 東部地区文化祭



恒例となっている東部地区文化祭ですが、今年は11月11日、12日の開催が決定しました。作品展やサークル発表の他、駐車場にて豚汁ふるまいや餅つき、こども縁日などの企画を開催する予定です。

また、多くの地区団体が参加し、「オーラル東部地区」体制で臨みます。

ぜひお越しください。

我がまち自慢 ●東町丁目町会 小原 美江子さん 日赤奉仕団の存在を知ってください

東部地区日赤奉仕団分団長の小原美江子さん(東町一)に日赤の活動について話を伺いました。

—日赤奉仕団に入られたきっかけはなんですか。
数年前町会の役員になったことです。
—それで分団長になられたんですか。
2年前に任期の交代があ

り、なんとなくやることになっちゃって。

—活動は大変ですか。
日赤の活動自体は先輩がしっかりした道筋をたててくれてあります。炊き出し訓練や救命講習、乳児院まつりへの参加、日赤の普及等です。「団長」という立場の重責は感じます。経験豊富な団員さんをはじめ、地区の多くの方々

に助けられています。最初は

東部地区について何も知らない自分がいて会合では知らない顔ばかりの中にいることに緊張していました。

—そもそも日赤って何ですか。
赤十字は世界中に広がる大きな組織だけれど、土台は皆さん個人の善意による寄付(活動資金)で成り立っています。活動も挙げればきりがありません。活動も挙げればきりがありません。活動も挙げればきりがありません。活動も挙げればきりがありません。



日赤奉仕団主催「応急手当講習会」の様子

「肩に力を入れず、自分ができることをコツコツとやるだけです。」と控え目だけれど、誇りを持って活動されている様子が分かりました。



昨年度の様子